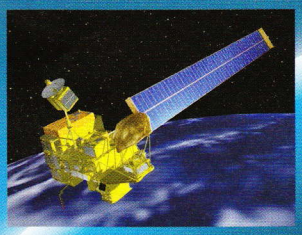
熊本高等専門学校
第6回 地域イノベーションセンターシンポジウム

宇宙開発技術とその利用技術

気象衛星を利用した天気予報や豪雨・台風などの自然災害の情報提供、またGPS衛星を利用した場所の情報やその情報を活用する様々なサービスなど、現在の我々の生活や産業社会には宇宙を利用した技術が深く浸透しており、今後もその技術は幅広い分野に転用されていくものと考えられます。

本シンポジウムでは、このような宇宙を利用した技術やその技術を利用するためのロケット打ち上げ技術などの現状について、日本のロケット開発に携わっておられるJAXA（宇宙航空研究開発機構）の内海政春氏にロケットエンジンを中心とした宇宙開発技術についてご講演頂くこととともに、本校が所有する「測位衛星システム（GPS/GNSS）を利用した技術」や「気象衛星やスペースバルーンを活用した技術」を地域の方々に紹介することで、本校の持つシーズと地域企業等のニーズとのマッチングを図り、地域と共同した技術開発・人材育成へのきっかけ作りを目指しています。



開催日 平成26年
11月21日(金)
14：00～17：10

会　場 八代ホワイトパレス
八代市松江町290-1

参加対象者 社会人・一般、学生

参加費 無料

プログラム

14:00	開　会
14:10～15:00	【講演①】「そうだったのか！　学べる宇宙開発とロケット」 講師：内海 政春氏 JAXA（宇宙航空研究開発機構）宇宙輸送ミッション本部 宇宙輸送系推進技術研究開発センター 技術領域サブリーダ
15:10～16:00	【講演②】「測位衛星システム（GPS/GNSS）を利用した技術」 講師：入江 博樹 熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科 教授
16:10～17:00	【講演③】「熊本高専における宇宙に向けた取り組み」 講師：岩尾 航希 熊本高等専門学校　共通教育科 准教授
17:10	閉　会
17:30～	講演者を囲んでの交流会

写真提供：(C) JAXA

主催／熊本高等専門学校 地域イノベーションセンター
共催／八代市工業振興協議会
後援／経済産業省九州経済産業局、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、熊本県、八代市、合志市、熊本県産業技術センター、一般社団法人九州経済連合会、公益財団法人くまもと産業支援財団、一般社団法人熊本県工業連合会、くまもと技術革新・融合研究会（RIST）、コラボ産学官熊本支部、熊本高専地域振興会

第６回　熊本高等専門学校
地域イノベーションセンターシンポジウム参加申込

★ **参加申込締切**　11月10日（月）

☆ **参加申込方法**　本紙をFAXまたは以下の申込内容をe-mailにてお申し込みください。
FAX：0965-53-1219　e-mail：so-kikaku@kumamoto-nct.ac.jp

（ふりがな） お名前		
所属（企業名、大学名等）		
連絡先	電話番号	
	e-mail	
交流会　（○でお囲みください）		参加　・　不参加
交流会場：八代ホワイトパレス 時間：17時30分～19時30分 会費：3,000円		

※参加申し込みに伴う個人情報は、本シンポジウムの確認・連絡のみに使用します。

講演者プロフィール

内海（うちうみ） 政春（まさはる）氏

JAXA（宇宙航空研究開発機構）
宇宙輸送ミッション本部
宇宙輸送系推進技術研究開発センター
技術領域サブリーダ

平成6年から、JAXAの前身であるNASDA（宇宙開発事業団）において液体ロケットエンジン（LE-7系，LE-5系）の研究開発に携わり、その後、イタリアのピサ大学工学部航空宇宙工学科の客員研究員を経て、現在は新型基幹ロケットエンジンの研究開発を行っています。また、長岡技術科学大学 非常勤講師として宇宙推進工学を通じて教育にも携わっています。

宇宙ロケットはなぜ必要？　どのようにできている？　どうやって宇宙へ到達する？　知っていそうで案外知らないことも多くあるのではないでしょうか。アポロ11号により人類が月面着陸して45年、宇宙開発は急速に発展してきました。アメリカが火星に人を送り込む計画が着々と進む中、民間による宇宙開発も活発化しており、宇宙は夢物語から身近なものになってきました。現在活躍中のロケットから将来構想までを、なるべくわかりやすくお話しします。

入江（いりえ） 博樹（ひろき）

熊本高等専門学校
建築社会デザイン工学科
教授

熊本電波工業高等専門学校を卒業した後、長岡技術科学大学に編入し、同大学院に進学。平成4年4月より八代工業高等専門学校機械電気工学科の助手として採用され、平成21年10月の再編統合により、熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科の所属となりました。

平成22年4月からの2年間は高専技大間人事交流制度により、長岡技術科学大学環境・建設系の環境リモートセンシング研究室に所属しました。

ロボット技術、無線技術、電子回路などへの興味からGPS(汎地球測位システム)の研究に足を踏み入れ、現在はGPSを利用して、環境情報モニタリング装置の開発に取り組んでいます。皆様に興味を持っていただけるよう、お話しします。

岩尾（いわお） 航希（こうき）

熊本高等専門学校
共通教育科　准教授

九州大学大学院にて修士課程・博士課程を修了後、平成16年から東京大学気候システム研究センター（現 大気海洋研究所）研究員を経て、平成19年八代工業高等専門学校一般科講師に着任。その後再編統合により、熊本高等専門学校 共通教育科所属となり、現在に至ります。

これまで成層圏オゾンや、モンゴルにおける降雨特性、日本周辺の爆弾低気圧の長期変化などを研究の対象としてきました。本講演では、普段あまり馴染みのない成層圏より上層における様々な現象について紹介するとともに、最近取り組んでいるスペースバルーンプロジェクトについてもお話しできればと思っています。

問い合わせ・申込先

〒866-8501　熊本県八代市平山新町2627
熊本高等専門学校　総務課 企画係　川村・野々原
TEL：0965-53-1390　FAX：0965-53-1219
e-mail：so-kikaku@kumamoto-nct.ac.jp